

- 1 教育事業名 青少年教育施設ボランティア養成セミナー
「とかしきボランティアスクール」
～ 島ボラ First Step ～
- 2 ね ら い これからボランティア活動をはじめの方を対象にボランティア活動への理解を深め、ボランティア活動に向けた期待と意欲を高めるとともに、必要な基礎的知識・技能を習得させる。
- 3 期 日 平成25年5月18日（土）～19日（日）1泊2日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 5 募集定員 30名程度
- 6 参加人数 42名
- 7 参加者内訳 大学生41名、社会人1名
(男性15名、女性27名)(県内42名)
- 8 講師
 - ・井上講四氏（琉球大学教育学部学部長）・・・講義「青少年教育の理解」
 - ・和田太志氏（NPO 沖縄ウォーターパトロールシステム理事長）
講義「救命救急法」

9 実施プログラム

5月18日（土）

	8:00	9:00	10:15	10:30	12:00	13:00		16:30	18:30	19:30	21:00	23:00	
	集合	出港	移動	開講式	「青少年教育の理解」	昼食	活動スキル 救命救急法	移動	「ボランティア活動の意義」 炊飯活動・夕食	移動	「ボランティア活動の理解」	灯かりの時間 入浴	休憩 就寝

5月19日（日）

	6:00	7:00	9:00		12:00	13:00	14:40	16:00	17:30	18:15	
起床洗面	つどい	朝食	活動スキル 海洋研修	昼食	「青少年教育施設の現状と運営」	クラフト	ふりかえり	閉講式	移動	出港	各自解散

10 事業の様子



講義「青少年教育の理解」



講義「救命救急法」



炊飯活動



「ボランティア活動の理解」



海洋研修



「青少年教育施設の現状と運営」

11 参加者の声

- ・ 多くの輪ができ、新しい仲間と新しい活動ができそう。
- ・ 技術的な面だけでなく、なぜこうするのか、どうしたらボランティアをする際よいのかまで教えてもらえた。
- ・ 考えていた以上の経験と成長ができたと思う。
- ・ 自分自身が成長できたので良かった。
- ・ 「みんなで協力すること」が目に見えていたのですごかった。
- ・ 心に響くものがあった。
- ・ 本当に楽しそうな姿が印象的。島ボラとして私も今後活動したいと思った。
- ・ 今までボランティアの経験があって、今回はすごく自分の成長につながったと思う。
- ・ 一人一人が違う気持ちで臨んだボランティア研修だったが、最終的にボランティアへの気持ちが高まり、成長できたと思うので、大変良かった。
- ・ この2日間楽しくて、自分が成長できたことが印象に残っている。
- ・ 人とのつながりの大切さを学んだ。
- ・ 小さなことが大きなことに繋がると感じ、自分も陰で支えられるようになりたいと思った。
- ・ ボランティアがとても楽しそうで、自分もそちら側の立場にたちたいと思った。
- ・ 参加していながら、スタッフの動きを見ることができ、これからは自分がその立場にたつので意識していきたいと思った。

12 担当者所見

【成果】

- ①ボランティア活動への理解を深め、青少年教育施設ボランティアとしての活動に向けた期待と意欲を高めることができた。
- ②野外活動等の指導を行う上で必要な基礎的知識・技能を身につけることができた。
- ③青少年の家ボランティア、講師、職員などとの交流を通し、個人や社会の多様性とふれあう中で新しい価値観を創造し、異なる他者と協働する能力を身につけることができた。

【課題】

- ①充実した研修の中にも、時間的制限があり窮屈さを感じる参加者もいた。
- ②講義「青少年教育の理解」でディベートがあったが、より活発な意見が出るように事前にアイスブレイキングを行う等のプログラムの配列に工夫が必要である。
- ③ボランティア同士の繋がりを強めるには期間や内容に工夫が必要である。